

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年4月9日

【2018年3月31日～2018年4月6日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・リアルは、貿易問題を巡る米国と中国の関係が緊張と緩和を繰り返す中で、市場のリスク回避姿勢が高まったことから、対米ドルおよび対円で下落しました。一方、2年国債金利はほぼ横ばいとなりました。

ブラジルの連邦最高裁は4日（現地、以下同様）に、ルラ元大統領による人身保護令の適用請求を、6対5の僅差で棄却しました。これを受けて、同氏を起訴した判事が5日に同氏の逮捕を命じました。ルラ元大統領は7日になって警察に出頭し、連邦警察がパラナ州クリチバに設置した特別監房に収容されました。

ルラ元大統領には今後、汚職などの容疑について連邦最高裁へ上告する手段は残されていますが、今回の収監によって大統領選出馬の可能性は大きく低下したものと考えられます。なお、大統領選への立候補の可否を最終的に判断するのは高等選挙裁判所で、その判断は候補者登録が締め切られた8月15日以降となる見込みです。大統領選については有力候補が不在となったことで、混戦模様が一段と強まりました。

経済面では2月の鉱工業生産が発表され、前月比および前年比がいずれも市場予想を下回る弱い数字でしたが、ブラジル金融市場への影響は限定的でした。

### 【2】今週の見通し

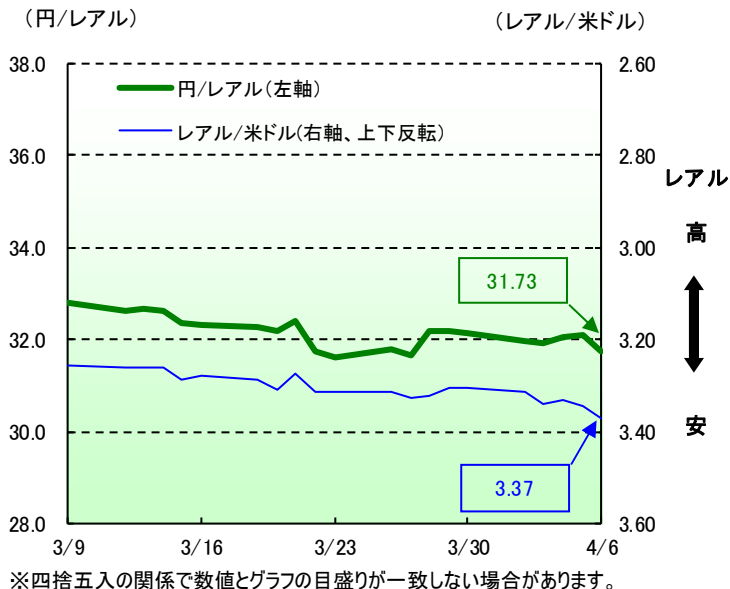
今週はIPCAインフレ率や小売売上高などの経済指標の発表に注目が集まります。

IPCAインフレ率については、市場予想が前年比2.7%程度となっており、前月分に比べて一段とインフレが鈍化する見込みです。ブラジル中央銀行は既に次回5月のCOPOM（金融政策委員会）での追加利下げの可能性を示唆していますが、インフレ率の下振れが顕著となるようであれば、さらなる追加利下げを市場が織り込むことも想定されます。

政治情勢につきましては、ルラ元大統領の出馬可能性が低下したことで、その他の大統領候補の支持率がどのように変化するかが注目されます。

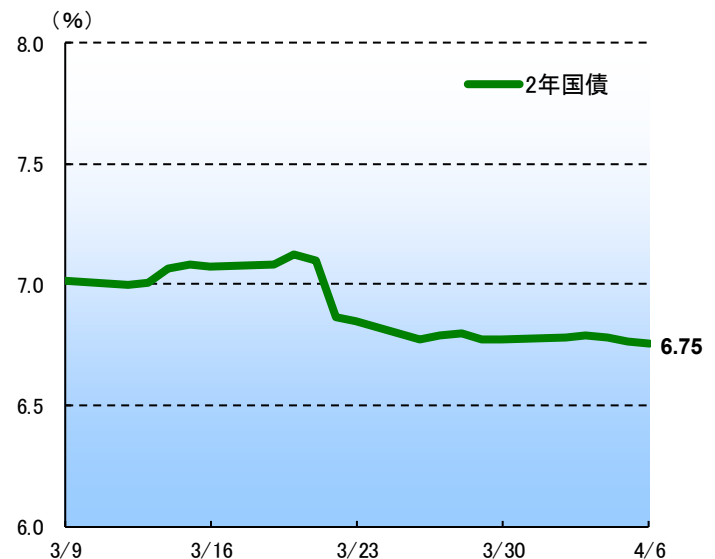
### 【ブラジル・リアル 為替推移】

（2018年3月9日～2018年4月6日）



### 【ブラジル 金利推移】

（2018年3月9日～2018年4月6日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management